



令和3年10月

# 北九州市の財政状況と 起債運営について



## 北九州市の概要

発足	昭和38年(1963年)2月、5市合併により誕生。五大市に次ぐ全国6番目の政令市
面積	491.71 km <sup>2</sup>
人口	944,712人(令和3年1月1日現在)
世帯数	486,826世帯(令和3年1月1日現在)

都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、「住みよいまち」として全国的にも高い評価を獲得

救急医療体制、 医療機関が充実	アクセスが よい	物価が 安い	安全安心
--------------------	-------------	-----------	------

### 住みたい田舎ベストランキング

全国  
第4位

宝島社・田舎暮らしの本2021年2月号「住みたい田舎ベストランキング」総合部門第4位

### 次世代育成環境ランキング2020年度

政令市  
第1位

NPO法人エガリテ大手前(東京都)「次世代育成環境ランキング」10年連続政令市第1位

### 合計特殊出生率

政令市  
第1位

令和元年は1.52で政令市第1位

## SDGs未来都市

・北九州市のSDGsに関する取り組みは**国内外から高い評価を獲得**

### 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞(2017.12)

- ・280以上の応募に対し12団体が受賞(自治体は北九州市と下川町のみ)
- ・市場公募債発行団体では初

### OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定(2018.4)

- ・9都市・地域選定(ドイツ・ボンなど)
- ・アジア地域で初めて選定

### 国より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定(2018.6)

- ・29都市選定(うち「モデル事業」は10都市のみ)

### SDGs達成に向けた主な取り組み事例

- ・自治体初のサステナビリティボンド(愛称:北九州市SDGs未来債)を発行
- ・企業や団体、学校、個人など多様なステークホルダーが参画する「北九州SDGsクラブ」を創設
- ・北九州SDGsクラブ会員である市内19社の金融機関と「SDGsの達成」という共通の目標のもと、地元企業を支援するため協定締結
- ・本市の都心部にある魚町商店街は、日本で初めて「SDGs商店街」を目指す宣言を実施

## 新型コロナウイルス対応

・新型コロナウイルスの陽性患者数



- ・検査能力の増強や病床の確保のほか、PCR検査センターを設置するなど、万全の医療提供体制を確保
- ・ワクチン接種完了率は76.0%(令和3年10月18日現在)で、順調な進捗
- ・また、社会経済活動の維持に向けても様々な支援を実施

### 新型コロナウイルス感染症に伴う主な支援策

- ・北九州市家賃等賃借料支援金
- ・北九州市中小事業者月次支援金
- ・飲食店、観光等への支援

## 令和3年度市場公募債発行計画

年限	令和3年度 市場公募債発行計画: 合計900億円												計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
5年債						100								100
10年債								100			100			200
20年定時償還債														100
30年定時償還債														200
フレックス枠														(200)
共同発行債	50	50		50	50					50		50		300
合計	50	250	100	50	50	100	100	50	100		50			900
5年債(住民参加型)								5						5

## 1. 北九州市の概要

北九州市のプロフィール	4
「住みよいまち」北九州市	5

## 2. 北九州市の起債運営について

北九州市の起債運営について	7
令和3年度市債発行計画/実績	8
自治体初のサステナビリティボンド (愛称:北九州市SDGs未来債)の発行	9

## 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けて

新型コロナウイルス関連 ～北九州市の新型コロナウイルス感染の状況と対策～	13
新型コロナウイルス関連 ～医療機関、介護事業所等に対する主な支援～	14
新型コロナウイルス関連 ～社会経済活動への支援～	15

## 4. 北九州市のまちづくり ～日本一住みよい街へ～

SDGs未来都市へ	17
ゼロカーボンシティ(脱炭素社会)の実現に向けた取り組み	20
地方創生の取り組み	21
新しいひとの流れ	22
しごとの創出	24
住みよいまちづくり	26
女性活躍、若い世代の結婚・出産・子育て	28

## 5. 北九州市の財政状況

歳入決算額の推移	30
歳出決算額の推移	31
市債発行額及び市債残高の推移	32
健全化判断比率について	33
公営企業の経営状況について	34
北九州市の財務書類	35
行財政改革の取り組みについて	36

# 1. 北九州市の概要



## 北九州市の概要

発足	昭和38年(1963年)2月、5市合併により誕生 五大市に次ぐ全国6番目の政令市
面積	491.71 km <sup>2</sup>
人口	944,712人(令和3年1月1日現在)
世帯数	486,826世帯(令和3年1月1日現在)

## 東アジアに近い北九州市

- アジアの中で北九州市は東京と上海の中心
- 上海までは約1,000kmで、東京までと同程度
- 釜山までは230kmで、大阪より近い



## 個性豊かな7区



若松と戸畑を結ぶ若戸大橋



ユネスコ無形文化遺産登録された戸畑祇園大山笠



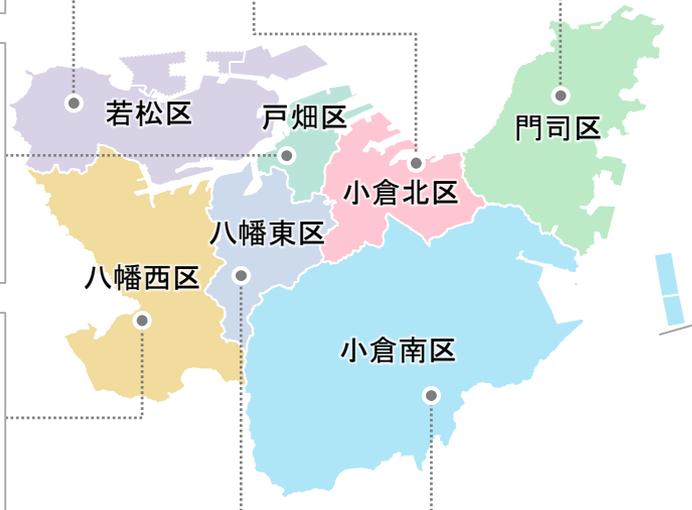
黒崎エリアの魅力ある工場夜景



唐造りの天守閣をもつ小倉城



大正浪漫ただよる建物が多く残る門司港レトロ地区



※一般には非公開の施設です  
写真提供: 日本製鉄(株)九州製鉄所  
世界文化遺産に登録された  
官営八幡製鐵所旧本事務所



平尾台のカルスト台地

北九州市は、都会の便利さと田舎の快適さをあわせ持ち、  
**「住みよいまち」**として全国的にも高い評価をいただいています

- 「住みたい田舎ベストランキング」** 全国 第4位  
 宝島社・田舎暮らしの本2021年2月号「住みたい田舎ベストランキング」総合部門第4位
- 「次世代育成環境ランキング2020年度」** 政令市 第1位  
 NPO法人エガリテ大手前(東京都)「次世代育成環境ランキング」10年連続政令市第1位
- 合計特殊出生率** 政令市 第1位  
 合計特殊出生率 令和元年は1.52で政令市第1位



## 救急医療体制、医療機関が充実

- 119番通報から病院到着までの時間が21大都市で4年連続の1位
- 人口10万人あたりの病床数は20政令市で第2位
- 91の病院と948の一般診療所(令和3年4月時点)

## アクセスがよい

- 平均的な通勤時間は25分
- JRやバス、モノレールなどの公共交通機関が整備
- 新幹線、北九州空港、フェリーによる遠方へのアクセスも便利

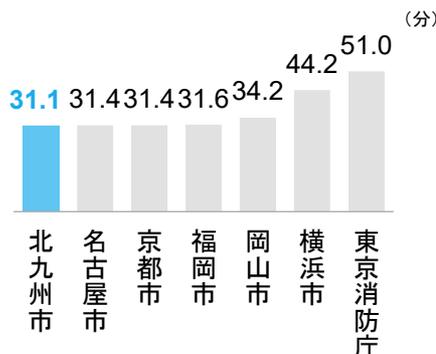
## 物価が安い

- 物価の安さは政令市で第3位
  - 東京都区部に比べて家賃が半額以下
- ※総務省令和2年小売物価統計調査

## 安全安心

- 刑法犯認知件数は平成14年をピークに、令和2年中は5,145件となり約87%減少(減少率政令市No.1)
- 令和3年度の市民意識調査結果では、「防犯、暴力追放運動の推進」が1位(7年連続)

## 通報から病院到着までの所要時間



## 陸・海・空の交通が充実

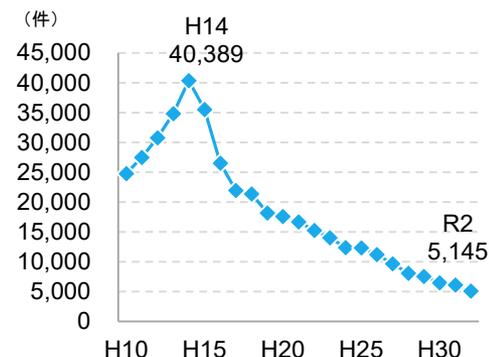


## 民間賃貸住宅の平均家賃(東名阪対比)

3.3㎡あたりの1か月の家賃(単位:円)

北九州市	3,749
名古屋市	4,684
大阪市	5,751
東京都区部	8,793

## 刑法犯認知件数



## 2. 北九州市の起債運営について

## Kitakyushu Commitment

**KC1** 市場との対話を重視し、投資家の皆様に広く受け容れていただけるよう起債運営に努めます。

**KC2** 投資家の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて、商品性の向上に努めます。

### 起債運営の特長

#### 1 多様な年限での発行

- 投資家の皆様の多様なニーズに応えるため、5年債、10年債、超長期債、サステナビリティボンド(10年債)を発行します。
- 5年債、10年債は「シ団交渉方式」、超長期債、サステナビリティボンド(10年債)は「主幹事方式」により発行します。

#### 2 フレックス枠の設定

- 年度の発行計画において、年限を予め定めない「フレックス枠」を設定しています。
- 年限多様化への対応や増額への対応など投資家の皆様のニーズに応じて、「フレックス枠」を活用して柔軟に対応いたします。

#### 3 年間主幹事制の採用

- 全ての年限の起債運営に関わる「年間主幹事制」を採用しています。
- 年間主幹事を通じて投資家の皆様との対話を行いながら、市場環境を踏まえた柔軟かつ機動的な起債運営に努めます。

#### これまでの取り組み

- 平成18年度  
・20年債を初起債  
・個別条件交渉方式へ移行
- 平成24年度  
・10年債で競争型幹事方式を導入
- 平成25年度  
・超長期債で年間主幹事制を導入
- 平成26年度  
・15年債を初起債
- 平成27年度  
・20年定時償還債を初起債  
・30年定時償還債を初起債 ※地方債市場初
- 平成28年度  
・10年債で主幹事方式を導入  
・10年定時償還債を初起債
- 令和3年度  
・自治体初となるサステナビリティボンドを初起債

## 令和3年度市場公募債発行計画

- 令和3年度の市場公募債(全国型)は、年間900億円を発行予定
- 9月に5年債を100億円発行、10年債は12月に100億円を発行予定
- 超長期債200億円+フレックス枠200億円は、20年定時償還債、30年定時償還債、サステナビリティボンド(10年債)の発行に活用
  - 5月に30年定時償還債を200億円発行、6月に20年定時償還債を100億円発行、10月にサステナビリティボンド(10年債)を100億円発行
- 共同発行債は300億円(年6回)を発行

\*サステナビリティボンド

年限	令和3年度 市場公募債発行計画： 合計900億円												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
5年債	100												100
10年債	100 サステナ債*												200
20年定時償還債	100												100
30年定時償還債	200												200
フレックス枠	30年定時 100増額												(200)
共同発行債	50	50		50	50			50			50		300
合計	50	250	100	50	50	100	100	50	100		50		900
5年債(住民参加型)	5 サステナ債*												5

## 令和3年度市場公募債(個別債)発行実績

	北九州市 第9回 30年公募公債 (定時償還)	北九州市 第8回 20年公募公債 (定時償還)	北九州市 令和3年度 第1回公募公債 (5年)
条件決定日	R3.5.13	R3.6.4	R3.9.8
発行額	200億円	100億円	100億円
表面利率	0.481%	0.288%	0.005%
発行価額	100円00銭	100円00銭	100円00銭
発行日	R3.5.26	R3.6.17	R3.9.28
償還日	R33.5.26	R23.6.17	R8.9.28

## ESG債の状況

近年、脱炭素社会の実現に向けた世界的な流れを背景に、環境改善効率や社会的課題の解決に繋がる事業に資金用途を限定したESG債の発行が急増



日本国内で公募されたESG債の発行額・発行件数の推移



	H28	H29	H30	R1	R2	累計
合計 件数(件)	3	15	36	83	146	283
合計 発行額(億円)	450	1,891	4,884	12,139	21,339	40,703

※グラフは、日本証券業協会ホームページを基に北九州市作成  
 ※日本国内で公表されたESG債の発行額・発行件数の推移

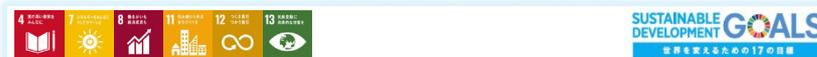
## 発行意義

- ・ 既存投資家に加え、**ESG投資に関心が高い新たな投資家の開拓**
- ・ 北九州市の**資金調達手段の多様化・安定化を促進**
- ・ 北九州市のSDGsに関する**先進的な取り組みの理解を促進**

“市の持続可能な未来”に繋がっていきます

## 北九州市SDGs未来債の発行

- 北九州市は、令和3年10月に、自治体初となるサステナビリティボンド(北九州市SDGs未来債)を発行
- 「北九州市SDGs未来計画」で掲げる、SDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組を推進するための資金調達の一環として「北九州市SDGs未来債」を位置づけ



## ESG債のイメージ

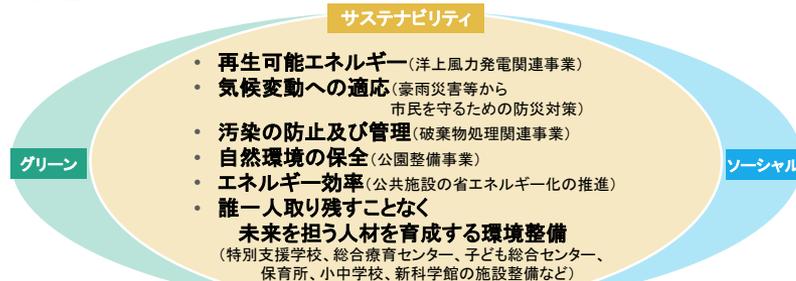


### 【ESG債の特徴】

- ・ 資金用途が、環境問題や社会的課題の解決に資する事業に限定される
- ・ インパクト(改善効果)に関する情報の公表や、第三者機関による評価が求められる

### サステナビリティボンド活用事業のイメージ(令和3年度に実施する事業)

本市のSDGs未来都市計画で掲げる、SDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組に係る施設整備事業



## 令和3年度の発行概要

「機関投資家向け」の発行に加えて、市民、市内の企業、団体、本市を応援する個人・法人等も購入できる「個人投資家向け」の発行を行うことで、市政への参画、SDGsの「理解・浸透」に繋げていきます。

### 機関投資家向け

項目	発行概要
銘柄名称	第1回北九州市サステナビリティボンド 10年公募公債
年限	10年(償還日 令和13年10月28日:満期一括償還)
発行額	100億円
利率	0.145%
発行時期	10月28日(木曜日)
主幹事会社	みずほ証券株式会社(事務)、 SMBC日興証券株式会社
購入対象先	機関投資家

### 個人投資家向け

項目	発行概要
銘柄名称	第1回北九州市サステナビリティボンド 5年公募公債(個人向け)
年限	5年(償還日 令和8年10月28日:満期一括償還)
発行額	5億円
利率	0.05%(税引き前)
発行時期	10月28日(木曜日)
募集期間	10月8日(金曜日)~22日(金曜日)
購入限度額	お一人様1,000万円まで(1万円から1万円単位)
購入対象先	(1)北九州市内にお住まいか、お勤めの個人 (2)北九州市内に事業所のある法人・団体 (3)北九州市を応援する個人・法人等

## 資金使途/外部評価

- ・ 調達した資金は、グリーン/ソーシャル適格プロジェクト分類に該当する事業に充当
- ・ 外部評価機関からICMAの定めるサステナビリティボンドガイドライン、グリーンボンド原則、ソーシャルボンド原則に適合すると評価を取得

### 充当事業の一例

洋上風力発電関連事業  
(イメージ図)



豪雨災害から市民を守るための  
防災対策事業(一例)



新科学館の整備  
(イメージ図)



特別支援学校の整備  
(イメージ図)



### 外部機関より、SDGsの達成に貢献が認められるとの評価を取得

適格カテゴリー	プロジェクトおよび 主なSDGsとの背合成	プロジェクト概要	想定される効果
グリーンプロジェクト	再生可能エネルギー	風力発電関連産業の総合拠点化 	響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用した、風力発電関連産業の総合拠点の形成
	気候変動への適応 持続可能な水資源・廃水管理	風水害・高潮災害の予防 	河川整備 上下水道整備 港湾整備 道路整備
	気候変動への適応	都市型災害の予防 	災害時の情報収集・伝達体制の整備(総合防災情報システム構築)
	汚染の防止及び抑制	災害廃棄物処理への対応 	ゴミ処理施設等の整備
	生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	自然環境の保全 	地域固有の生態系の保全と自然環境に配慮したまちづくり(公園整備等)
ソーシャルプロジェクト	エネルギー効率	公共施設の更新・改修(グリーン・省エネ) 	公共施設のエネルギー消費量の削減(市保有施設の照明のLED化や老朽化施設やエネルギー多消費施設における省エネ機器の採用等)
	必要不可欠なサービスのアクセス <対象となる人々> 子育て世帯、女性、子ども、障がい児、教育関係者、一般の人々	子育て・教育環境の整備 	特別支援学校整備 総合療育センター整備 子ども総合センター整備 保育所等整備 小中学校等整備 新科学館等整備
	手ごろな価格の基本的インフラ整備 <対象となる人々> 一般の人々、自然災害の罹災者	公共施設の更新・改修(ソーシャル) 	区役所の自家発電設備整備 避難場所、消防施設等の整備・改修
		温室効果ガス排出削減 土砂被害の緩和 水災害など発生時ににおける安全・安定的な水道インフラの供給 汚水の放流先の汚濁負荷低減	
		水災害など発生時の浸水、土砂被害の緩和 水災害など発生時ににおける安全・安定的な水道インフラの供給 汚水の放流先の汚濁負荷低減	
		自然災害からの被害の予防	
		大気汚染物質の排出削減 水質汚染物質の排出削減	
		干潟の環境維持 多種多様な希少生物の生息地の保全	
		温室効果ガスの排出削減 エネルギーの利用削減	
		誰一人取り残すことなく未来を担う人材を育成する環境を整備	
		防災機能の強化等	

### 3. 新型コロナウイルス感染拡大防止 と社会経済活動の両立に向けて

## 北九州市の検査・医療体制

- ・北九州市保健環境研究所に新たな検査機器を導入
- ・民間検査機関の活用
- ・北九州市PCR検査センターの開設 ～ドライブスルー方式～
- ・各医療機関における検査機器の導入
- ・かかりつけ医・一般病院での検査拡大～だ液による検体採取の活用～



## 介護・障害者施設等に対するPCR検査支援

検査を希望する介護サービス事業所等の利用者と従事者に対し、**スクリーニング目的のPCR検査を実施し、クラスターの発生を未然に防止**

対象	費用
約2,800施設、約69,000人を対象 (令和3年4月時点)	対象者の費用負担なし 施設単位で月1回程度

## 新型コロナウイルス感染症に対する支援策

感染拡大防止のため「検査・医療体制の構築」を推進するとともに、「事業継続と雇用維持のための経済対策」、「感染拡大防止に取り組む市民等への支援」についてスピード感をもって推進

### 【本市の主な支援策】

- ・商店街プレミアム付商品券発行支援事業
- ・テレワーク等推進による事業者支援事業
- ・公共交通応援事業
- ・観光客誘致強化事業
- ・学校再開における学校業務補助員配置事業

(単位:億円)

	事業費	国庫支出金等	臨時交付金	一般財源
令和2年度 (決算額)	1,304	1,175	114	15
令和3年度 (予算額)	231	130	63	38
合計	1,535	1,305	177	53

※令和2年度は決算額、令和3年度は予算額を記載  
※令和3年度は9月補正予算まで

## 北九州市の陽性患者数の推移

### 陽性患者の内訳(10月3日時点)

累計(10,808人)

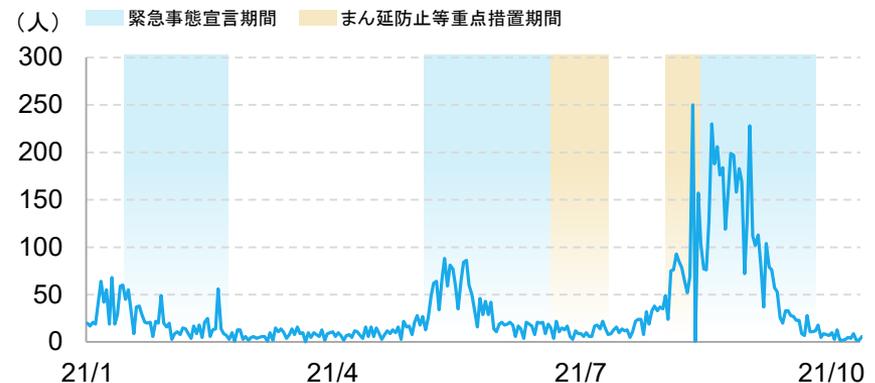
入院等	調整中	退院	死亡
92人	21人	10,588人	107人

### ワクチン接種人数(10月18日時点)

1回目接種完了	2回目接種完了	接種完了率
679,000人	643,000人	76.0%

※12歳以上の人口に占める割合

### 陽性患者数の推移(10月11日時点)



## 医療機関及び市民に対する支援

国

### コロナ患者受入れ空床確保

【重点医療機関である一般病院】

ICU病床	30.1万円/床
HCU病床	21.1万円/床
その他病床	7.1万円/床

【一般の医療機関】

ICU病床	9.7万円/床
重症者・中等症者病床	4.1万円/床
その他病床	1.6万円/床

## 北九州市

### 陽性患者受入れ給付金

→ 30万円/人

### 帰国者・接触者外来運営支援

→ 1日あたり12～18万円

### 疑似症患者受入れ給付金

→ 6万円/人

### 陽性者外来設置給付金

→ 3万円/人～4.5万円/人

※上記のほか、自宅療養者への往診・訪問看護についても協力を支給

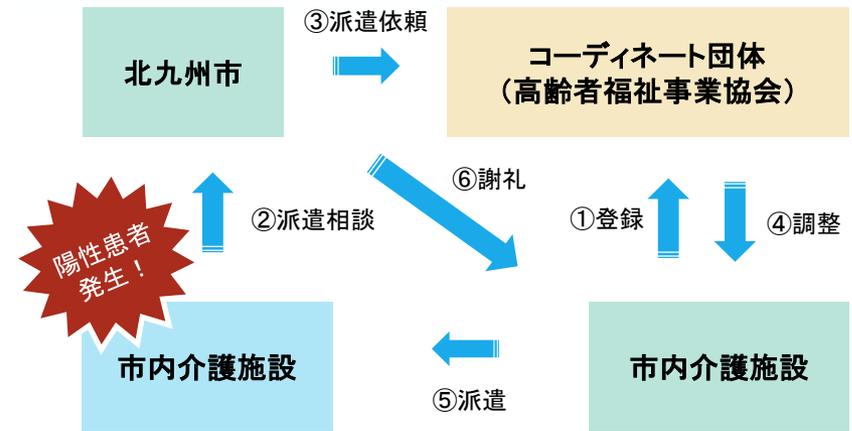
## 介護事業所等に対するサービス継続支援

### 感染症等に対応した介護事業所等への支援

- サービス継続に必要な人員確保や消毒・清掃、衛生用品の購入等に必要な費用の支援

### 法人を超えた応援体制

- 今後の介護施設でのクラスター発生に備え、**感染拡大により職員不足が生じた施設に対する応援体制**(施設・法人を超えた職員の派遣)の構築



派遣職員への謝礼(3万円/日)  
派遣元施設への謝礼(15万円/回)  
※賃金の上乗せを市独自で補助

## 感染拡大防止のための民間団体等との連携

- 医師等による介護事業所等従事者向け研修 約2,200事業所
- 感染症専門家(NPO法人北九州感染制御チーム)による訪問指導 約80施設

## 事業者に対する支援金

### ■ 北九州市家賃等賃借料支援金

対象となる事業者

緊急事態措置やまん延防止等重点措置に伴う休業要請等に応じた飲食店等

給付額

1ヶ月分の家賃等賃借料の8割/1施設(40万円まで)

### ■ 北九州市中小事業者月次支援金

対象となる事業者

売上が減少した市内に事業所を有する事業者で、福岡県感染拡大防止協力金の支援対象外となる事業者

給付内容

国・県の支援金に上乘せ又は市の独自給付を行い、事業者を支援

## おためしサテライトオフィス誘致促進事業

- 首都圏等の企業の本市でのサテライト拠点開設に向けた検討経費を助成

利用条件

最長1か月(原則1社3名まで)

対象経費

- 宿泊費 最大6,000円/日(1人最大30日まで)
- 移動費 最大30,000円/人(片道)
- ワークスペース利用料 最大1,500円/日(1人最大30日まで)

予算額

3,000万円

利用施設によって企業負担ゼロ

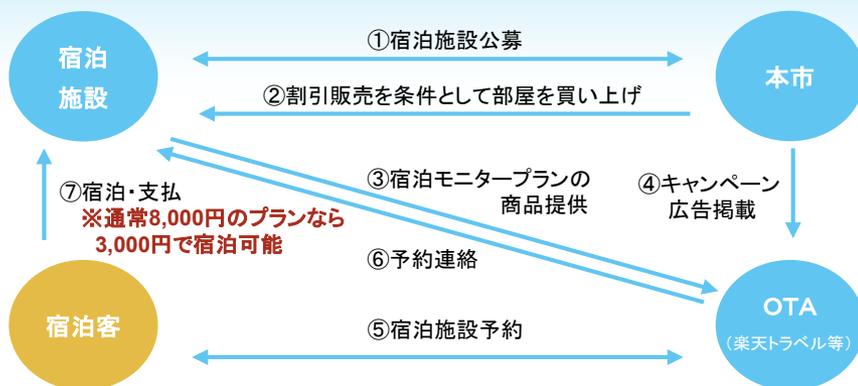


北九州市がサテライトオフィスを全カサポート

宿泊費	最大 6,000円/日/人
移動費	最大 30,000円/人(片道)
ワークスペース利用料	最大 1,500円/日/人

## 宿泊モニターキャンペーン

- 市内宿泊事業者の業績の早期回復を支援



助成総額 : 約2億1,200万円(参加施設の感染対策経費助成1,000万円を含む)

宿泊数 : 6万3,613人泊(9月30日受付終了)

## 飲食店、商店街等への支援

クラウドファンディングを活用した  
前払い方式による飲食店等の  
資金調達支援



計4回実施  
支援者数: 延べ13,114人  
登録数: 延べ2,049件

総額2億3,000万円  
を超えるご支援

商店街プレミアム付商品券  
発行支援事業

概要

福岡県の制度と合わせて、商店街等や商工会議所が発行するプレミアム付商品券やキャッシュレス商品券の発行を支援する



プレミアム率 20%

市内40団体  
発行総額56億円



北九州市  
CITY OF KITAKYUSHU

## 4. 北九州市のまちづくり ～日本一住みよい街へ～

## SDGsの達成に向けて

- 「SDGs」(持続可能な開発目標)は、国連の全加盟国(193カ国)が合意した、2030年の達成を目指した世界の目標(17のゴール、169のターゲットで構成)



## 国内外からの高い評価

### 第1回「ジャパンSDGsアワード」特別賞を受賞(2017.12.26)

- 280団体以上の応募に対し12団体が受賞(自治体は北九州市と下川町のみ)
- 市場公募債発行団体では初

### OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定(2018.4.18)

- 9都市・地域選定(ドイツ・ボンなど)
- アジア地域で初めて選定

### 国より「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定(2018.6.15)

- 29都市選定(うち「モデル事業」は10都市のみ)

## SDGs戦略(ビジョン) 2030年のあるべき姿「『真の豊かさ』にあふれ、世界に貢献し、信頼される『グリーン成長都市』」

### 【経済】

#### 人と環境の調和により、新たな産業を拓く

- 先進のまちを目指した新たなビジネスやイノベーションの創出
- 地域経済における自律的好循環の形成
- 働く場の地方分散・柔軟な働き方の普及
- 新たな企業価値を生み出すSDGs経営の普及

#### 優先的なゴールとKPI



#### 従業者一人あたり市内GDP(名目)

現在(2016年): 8,481千円  
⇒ 2030年: **9,320千円**

#### 社会動態の増減

現在(2020年): ▲757人 ⇒ 社会動態プラスの早期達成及び維持

#### 「北九州SDGs登録制度」登録事業者数

現在: 0 ⇒ 2030年: 500

### 【社会】

#### 一人ひとりが行動し、みんなが輝く社会を拓く

- ダイバーシティの推進等による誰もが活躍できる場の創出
- 市民参加型の活動による生活の質(QOL)の向上
- 市民の健康(幸)寿命の延伸
- 変革を支え、リードする教育・人材育成の推進
- 感染症に対応した安心して暮らせる社会の構築

#### 優先的なゴールとKPI



#### 付属機関等の女性委員の参画率

現在(2020年7月): 付属機関等の女性委員参画率が平均で50%超  
⇒ 2023年: **全ての付属機関等の女性委員参画率が50%超**

#### 「子育てしやすいまち」と感じる市民(子育て世代)の割合

現在(2019年): 88.6% ⇒ 2024年: **90%以上**

### 【環境】

#### 世界のモデルとなる持続可能なまちを拓く

- 脱炭素エネルギーの安定的な供給体制の構築
- 市民・企業との協働による循環システムの構築
- コンパクトなまちの形成によるストック型社会の創造
- 技術と経験を生かした国際貢献の推進

#### 優先的なゴールとKPI



#### 再生可能エネルギー導入量

現在(2018年7月): 288,000kW  
⇒ 2030年: **700,000kW**

#### 市民1人一日あたりの家庭ごみ量

現在(2019年): 468g ⇒ 2030年: **420g**

#### ごみのリサイクル率(かん・びん・ペットボトルなど)

現在(2019年): 28.0% ⇒ **2030年: 32%**

## SDGsの広報と普及・浸透

### 普及・PR

- 市政だよりでは、2019年4月から、2か月に1回SDGsの特集を実施
- 市役所本庁舎・区役所の玄関の装飾
- 公用車へのステッカー掲示や、西鉄バスのラッピングの運行
- SDGsに関する出前講演、セミナーの開催
- マンガ冊子の作成
- 北九州SDGs未来都市アワード(表彰制度)の実施



SDGsに関する  
出前講演・セミナー



### 人財創出

#### 令和2年度からは地域を支える人財の創出にも注力

ESDの視点からSDGsを踏まえた教育の実践による「未来の人財が育つまち」

#### 市立小・中学校

- 副読本(小学生版)の作成→小学校3年生に配布
- 副読本(中学生版)の作成→中学校1年生に配布

#### 高校

- 探究学習における企業・大学などとの連携

#### 大学

- 企業・市民・大学と連携した取り組み

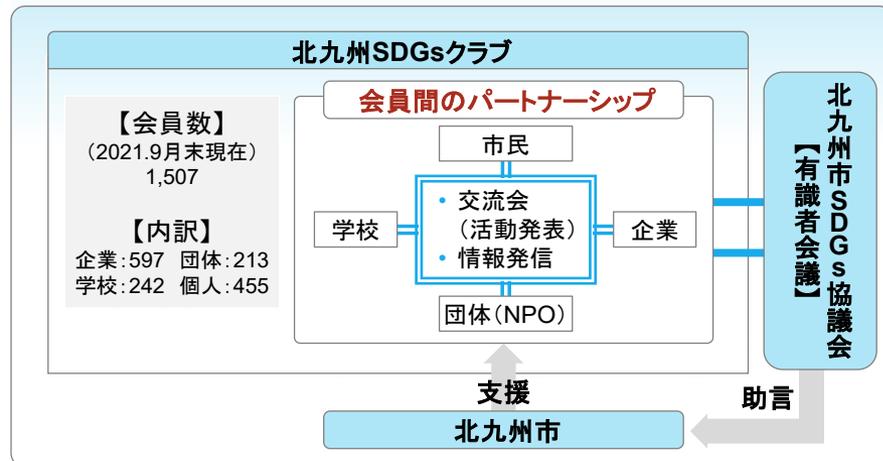
#### 一般

- 市民センターにおける地域活動支援など

「普及・PR」から「人財創出」へ

## SDGs達成に向けた取り組み

- SDGs達成に向けた活動を推進するため、企業や団体、学校、個人など多様なステークホルダーが参画する「北九州SDGsクラブ」を創設



### SDGsを具体化・見える化する取り組みを推進

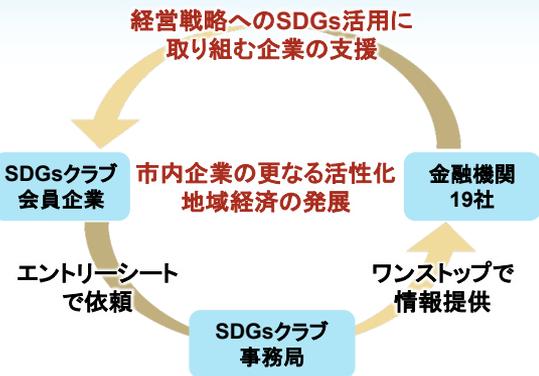
- 市民・企業・団体など、共通の課題を持ったクラブ会員が主体的にプロジェクトチームを立ち上げ、会員同士が連携して取り組みを推進

#### SDGsクラブ会員 プロジェクトチーム



## SDGs達成に向けた取り組み(民間)

北九州SDGsクラブ会員である金融機関19社と、「SDGsの達成」という共通の目標のもと、地元企業を支援するため、協定を締結



ESG・SDGsコンサルティング、  
ビジネスマッチング等で  
地元企業のSDGs経営をサポート



## SDGs達成に向けた取り組み(市民)

魚町商店街は、日本で初めて「SDGs商店街」を目指す宣言を実施

- ・エコルーフで省エネ対策
- ・飲食店等と協力したフードロスの削減
- ・空き店舗や空き家をリノベーション
- ・SDGsに関する様々なテーマを語り合うバルの開催
- ・「得するまちのゼミナール」で商店主が市民に様々な知識や技能を伝授



『第3回ジャパンSDGsアワード』で最高賞  
「内閣総理大臣賞」を受賞

## SDGs達成に向けた取り組み(行政)

環境国際協力と環境国際ビジネスの推進

アジア諸都市に対する、廃棄物管理、エネルギー、上下水道、環境保全など「北九州モデル」を活用した総合的なまちづくりの輸出

アジアと  
つながる  
3つの力

1. 公害克服の経験
2. 環境・エネルギー技術
3. フレンドリーな関係

-  スラバヤ市(インドネシア)  
2012年11月 「環境姉妹都市提携」
-  ハイフォン市(ベトナム)  
2014年4月 「姉妹都市協定」
-  プノンペン都(カンボジア)  
2016年3月 「姉妹都市協定」
-  ダバオ市(フィリピン)  
2017年11月 「環境姉妹都市提携」



官民連携による海外水ビジネスの展開

- ・「北九州市海外水ビジネス推進協議会」と連携
- ・水ビジネス受注件数: 54件(2018.8時点)  
(カンボジア、ベトナム、インドネシア、ミャンマー、中国)
- ・「プノンペンの奇跡」に導く



次世代エネルギーの拠点化

北九州市地域エネルギー拠点化推進事業

- ・地域エネルギー会社「(株)北九州パワー」の設立(2015.12)

風力発電関連産業の総合拠点化

- ・響灘洋上風力発電施設の設置・運営事業者決定(2017.2)  
(計画: 最大22万kW、総事業費1,750億円)
- ・海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)指定(2020.9)



市民を中心としたESDや市民活動の推進

北九州ESD協議会の取り組み

- ・「地域・NPO+ユース」のコラボレーション

女性活躍の推進

- ・北九州市の附属機関及び市政運営上の会合  
女性委員参画率 50%超 (政令市初)



# ゼロカーボンシティ(脱炭素社会)の実現に向けた取り組み

## ゼロカーボンシティ宣言(R.2.10.29)

～「環境と経済の両立」による都市の競争力向上を実現～

菅総理(当時)の国会所信表明における、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すとの宣言と歩調を合わせ、本市としても「ゼロカーボンシティ」を宣言

## 北九州市地球温暖化対策実行計画(2021～2030)

脱炭素社会の実現を見据え

温室効果ガスの削減目標

緩和と適応に関する具体的な取組

を定める

“SDGs未来都市”である本市として地球温暖化対策をこれまで以上に加速

背景及び目的

### 温室効果ガスの削減目標

北九州市の「2050年のゼロカーボンシティ」の表明を踏まえ、「バックキャスト」のアプローチにより、2050年の目指すべき姿(ゴール)と、今後10年間で必要となる具体的な削減対策と効果を積み上げ、2030年度の削減目標(ターゲット)を設定します。

#### 2050年(目指すべき姿:ゴール)

市内の温室効果ガス排出の  
**実質ゼロを目指す**  
(ゼロカーボンシティ)

#### 2030年度(達成目標:ターゲット)

2050年の実質ゼロの中間地点として、**今後10年が極めて重要な期間と認識し**具体的な削減対策と効果を積み上げ、**2013年度比で47%以上削減**



## 北九州市が戦略的に目指すエネルギーの将来像



### ①風力発電推進拠点都市

- 【背景】
- 再エネの主力電源化、洋上風力発電の導入加速
  - 基地港湾の指定、響灘一帯海域の風力抑制に適した風況

#### 【本市が目指すところ】

- 風力関連産業の総合拠点化
- 促進区域の指定制度などを活用した洋上風力発電の導入加速、再エネの地産地消

### ②蓄電システム先進都市

- 【背景】
- 再エネの導入拡大による余剰電力の増加(不安定)
  - PV・蓄電池の普及とシステムの確立(コスト抑制)

#### 【本市が目指すところ】

- PV・蓄電池の普及による、再エネ電源の安定化、再エネ100%電力化の実現
- 災害時の停電影響の極小化
- リユース・リサイクル体制の構築(サーキュラーエコノミー)

### ③水素製造・供給拠点都市

- 【背景】
- 国による水素サプライチェーンの構築
  - CO<sub>2</sub>フリー水素の製造・供給のスケールアップ・コストダウン

#### 【本市が目指すところ】

- 安価な水素輸入・供給
- 再エネ導入を支える余剰電力を活用した水素製造
- 火力発電の代替エネルギー、電化が困難な高温の熱需要の対応

本市の取組等は、世界で評価されています！

### Horasis(ホラシス)アジアミーティング

スイスに拠点を置く世界的なシンクタンクである「Horasis」の誘致に成功(日本初)

多岐にわたる分野のリーダーが集い、アジアの将来像について議論

- 2022年開催予定、投資家や企業CEO等400人超が参加予定
- 環境技術やESG(環境・社会・企業統治)投資などについて討議を予定



2019年8月27日、Horasisと開催都市選定に関する基本合意書を締結。



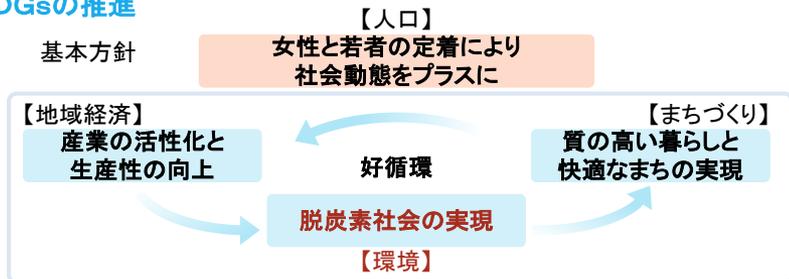
## 女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、SDGsを原動力に地方創生の「成功モデル都市」を目指す

### 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

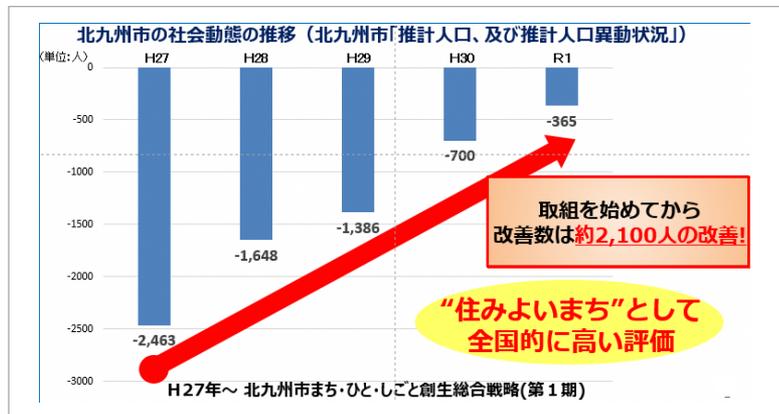
#### ポイント

- 新型コロナウイルス感染症拡大によって、明らかになった課題、新しいトレンドを受け、**ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据えて戦略を強化**
- 基本方針に、新たに「**脱炭素社会の実現**」を加え、人口・地域経済・まちづくり・環境の課題に一体的・重点的に取り組み、SDGsを原動力とした持続可能な社会を目指す
- デジタルトランスフォーメーション(DX)推進による質の高い社会の構築**を目指すことを、横断的な視点として位置付け

#### SDGsの推進



#### 社会動態増減数



#### 新しいひとの流れ

- 定住・移住の促進
- 観光イベント等を通じた「関係・交流人口」の創出・拡大



「世界体操」と「世界新体操」の同時開催

#### しごとの創出

- 市内企業への就職促進
- 新たな働き手の確保
- 地域経済活性化の推進



#### 住みよいまちづくり

- 都市ブランドの構築
- 地域間連携
- コンパクトプラスネットワーク



#### 女性活躍、若い世代の結婚・出産・子育て

- 女性の就業促進
- 子育てしやすいまち



産学官金労言、議会・住民が一体となって、「オール北九州」で地方創生を推進

## 2021世界体操・新体操選手権北九州大会

東京にて開催発表(2020.11.8)

東京・代々木第一体育館で行われた体操の国際大会のクロージングセレモニーの中で、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会の森会長より発表。

発表後、国際体操連盟・渡辺会長、福岡県・小川知事・北九州市・北橋市長で記者会見を実施。



<特徴>

★史上初の

「世界体操」と「世界新体操」の同時開催

★東京2020後国内初の世界選手権

～全世界から注目が集まる大会～

★万全の新型コロナ対策

“政府の制限緩和の実証イベントに位置づけ”

東京2020同様「バブル方式」を採用⇒感染対策を実施

「ワクチン検査パッケージ」を活用⇒観客を上限まで入れた開催を実現



世界体操

WORLD GYMNASTICS CHAMPIONSHIPS

日程: 2021年10月18日(月)～10月24日(日)

会場: 北九州市立総合体育館



世界(新)体操

RHYTHMIC GYMNASTICS WORLD CHAMPIONSHIPS

日程: 2021年10月27日(水)～10月31日(日)

会場: 西日本総合展示場新館



## 北九州空港の利用促進

- 北九州空港将来ビジョン実現に向けてよりいっそう街なかの賑わいを創出するため就航路線の安定化と新たな路線誘致の強化

### 【北九州空港将来ビジョン】

- 物流: 九州・西中国の物流拠点空港
- 交流: 北部九州の活発な交流を支える空港
- 産業: 航空関連産業の拠点空港

- 平成30年度までの成果を踏まえ、令和元年度からの3か年を「ネットワーク充実強化期間」として、福岡県とのより緊密な連携のもと関連事業を集中的に実施

### 充実した就航先 (6路線)

- 中国: 1 (大連)
- 韓国: 2 (釜山、仁川)
- 台湾: 1 (台北)
- 東京: 1
- 沖縄: 1



### 空港利用者数

- H29: 164万人
- H30: 178万人 (開港以来最高)
- R1: 158万人
- R2: 32万人

### 貨物取扱状況

- 関西以西唯一の貨物定期便(仁川⇄北九州)
- 仁川経由アジア最大の貨物機ネットワークを提供(世界43ヶ国120都市)
- 国際貨物取扱量約14,000t(令和2年度)と前年度比2.5倍で過去最高を更新

### 航空ネットワークの拡充



## 定住・移住の促進

### 戦略的広報推進事業

- 首都圏等の市外に向け、本市の魅力や暮らしやすさ、充実した子育て環境等を庁内横断的な連携や民間力の活用により効果的に発信

### 定住・移住促進事業

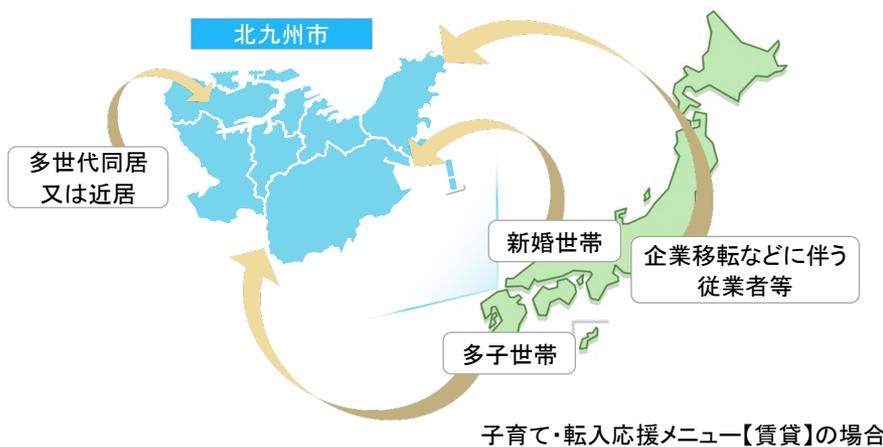
- 「定住・移住の促進」を一層図るため、市内におけるお試し居住や移住相談機能を拡充するなど移住してもらうための取り組みを強化

### 住むなら北九州 定住・移住推進の取り組み

- 市外から移住する世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助
- 令和3年度は、テレワーク等で移住する世帯向けに対象要件を拡充、また、親との同居近居を目的に転入する子育て世帯等を対象に募集枠を拡大及び補助上限額を引き上げ



### 事業のイメージ



## 観光客増に向けた取り組み

### 2つの世界的遺産と日本遺産



※一般には非公開の施設です  
写真提供：日本製鉄(株)九州製鉄所

### 日本新三大夜景都市

- 平成30年10月、長崎、札幌と並んで、「日本新三大夜景都市」に認定



### 小倉城周辺の魅力向上

- 再建60周年の天守閣は、約30年ぶりに展示内容と内装を一新



### 食の魅力

- 響灘、周防灘、関門海峡と、3つの海に囲まれる国内有数の漁場を持つほか、豊かな森林など自然にも恵まれ、海の幸、山の幸が豊富



## 風力発電関連産業の総合拠点化

「海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾(基地港湾)」に  
西日本で唯一指定

西日本における風車積出拠点としての利用促進が期待される

風力発電関連産業に必要な機能を集積した「総合拠点」を形成



## DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

### DX推進プラットフォーム



DXを推進したい市内企業(ユーザー企業)とデジタル化を提案できる企業(ベンダー企業)とをつなぐ場として設立

### 北九州デジタル化サポートセンター

デジタル化のお手伝いをします!  
まずは一度ご相談ください!

- オンライン採用に活用したい方 (Web面接等)
- オンラインで商談をしたい方
- 在宅勤務で会議をしたい方

IT専門家を派遣し、国・県のIT導入補助金の活用支援テレワークやWEBを利用した採用活動等の課題解決

4回まで無料

各社ごと4回まで無料

### DX推進補助金



DXに関する費用全般が対象  
(ECサイト構築、生産管理システム導入、ペーパーレス化等)  
補助率2/3以内、200万円上限

## 若者の市内企業への就職促進

### 地元企業の魅力を伝え、学生・若者の地元就職を促進

#### 学生就職応援プロジェクト

- 九州・山口一円の学校訪問を通じて、まちや企業の魅力発信
- 大学での市長講演会、企業見学&まちあるきツアー、学生と企業との交流会等を開催

#### 「第二新卒」の採用促進

- 「20代・30代で初めての転職を行う層＝第二新卒」の採用促進
- 民間転職フェアの活用や情報発信の強化を図る

#### 地元就職促進に向けた市内大学等助成

- 地元就職促進等に取り組む市内大学等に対し助成

#### 就職氷河期世代の就業支援

- 市内3か所に専用相談窓口を設置するとともに、統括カウンセラーを配置
- 短期の資格取得支援や国・県・市の支援内容等をきめ細かく発信することで、就職氷河期世代の正規雇用化を促進

#### 外国人材就業サポートセンターの運営

- 専門相談窓口の設置や企業を対象としたセミナーの開催、市内留学生とのマッチング支援等
- 外国人材の就業を一元的にサポートを行うことで、市内企業の外国人材の活用を促進

## 魅力ある職場の創出

#### オフィスリノベーション補助金

- 市内オフィスビルの改修工事を支援
- 補助率1/5、上限額5億円



#### スタートアップエコシステム推進事業

- 市外からの起業家を呼び込み新たな産業と雇用の創出を推進
- スタートアップの掘り起こしや誘致、事業拡大の環境づくりに関する支援

#### ベンチャー企業の創出・育成

- 創業支援の中核施設として「COMPASS小倉」をオープン
- 明るく開かれた創業相談窓口やコワーキング機能
- イノベーションを起こすための交流会やイベントを多数開催

#### 事業承継・M&A促進化事業

- 事業承継の潜在ニーズの掘り起こしから具体的な成果の創出までをトータルでサポートすることにより、市内中小企業の円滑な事業承継を推進

## U・ターン就職

#### 常設窓口での伴走型支援

- 専任コンサルタントが常駐
- U・ターン就職や転職相談、職業紹介を実施

#### お盆・お正月のU・ターン相談会

- 市内企業や市政情報も提供

#### 個別相談会・イベント出展

- 専門のカウンセラーによる個別相談会を開催
- DODA転職フェア出展



U・ターン応援  
オフィスコンサルタント



DODA転職フェア

**令和2年度就職者:215名  
4年連続200名を突破!**

## スーパーシティ構想

### 近代日本産業革命の地 北九州市・東田Super City for SDGs構想

- 「世界の環境首都づくり」を礎とし、デジタル技術を駆使することで、環境・経済・社会の好循環によるSDGsの加速化、脱炭素社会を目指す
- 環境とデジタル技術を柱とした、のべ78の企業・研究機関と連携した計30プロジェクトを国へ応募。現在、国において審査中。

#### 基本方針

##### 環境 「グリーン成長都市」

環境と経済の好循環による脱炭素社会を目指すまち

##### 経済 「規制改革・先端技術の実証・実装フィールド」

地域課題の解決や、新たな先端ビジネスが生まれ育つまち

##### 社会 「ダイバーシティの実現」

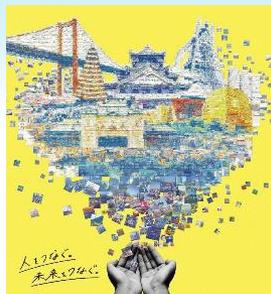
あらゆる世代や障がいのある方など、みんなが活躍できるまち



## 都市ブランドの構築

### 東アジア文化都市

- ・日中韓の3か国において選ばれた都市が、1年間を通じて現代の芸術文化や伝統文化、また多彩な生活文化に関連する様々な文化芸術イベント等を実施するもの



### 2021年開催都市

- ・日本: 北九州市 中国: 敦煌市・紹興市 韓国: 順天市

### 会期

- ・2020年、2021年の国内開催都市となり、2年間にわたり実施

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
日本	 横浜市	 新潟市	 奈良市	 京都市	 金沢市	 豊島区	 北九州市	
中国	泉州市	青島市	寧波市	長沙市	ハルビン市	西安市	揚州市	敦煌市 紹興市
韓国	光州 広域市	清州市	済州 特別自治道	大邱 広域市	釜山 広域市	仁川 広域市	順天市	

## 住民による地域防災の充実

- ・地域防災体制の取り組みを推進



## 安全・安心を実感できるまちづくり

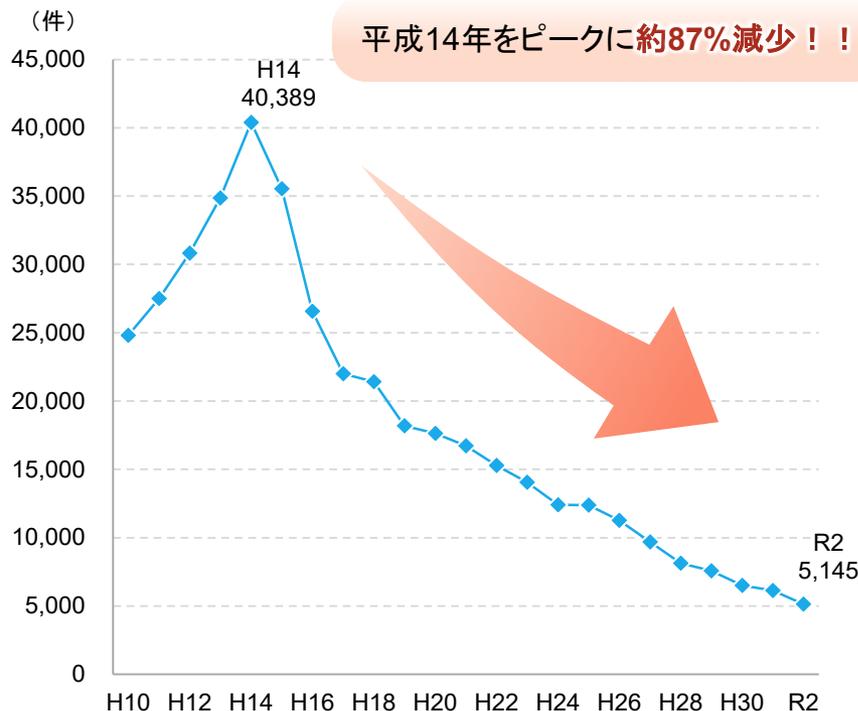
### 安全・安心に配慮した環境の整備

- ・防犯カメラの設置(市内204台)
- ・地域や事業者を対象とした防犯カメラ設置補助事業の実施

### 生活環境の整備

- ・「おでかけ交通支援事業」バス路線廃止等の対策として、高齢者等の日常生活や外出を支援する生活交通を確保するもの  
※実施地区 (R1:7地区⇒R2:16地区)

### 刑法犯認知件数



## 関門連携

### 下関北九州道路の整備

- 下関北九州道路は、既存道路ネットワークの課題の解消や関門トンネル・関門橋の代替機能の確保、さらには循環型ネットワーク形成による関門地域の一体的発展を目的として検討を進めている道路



### これまでのあゆみ

(平成29～30年度)

- 山口県・福岡県・北九州市・下関市等の行政及び経済界の実務者レベルで組織する「下関北九州道路調査検討会」での検討

### 地域での調査から国による直轄調査へ

(令和元年度～)

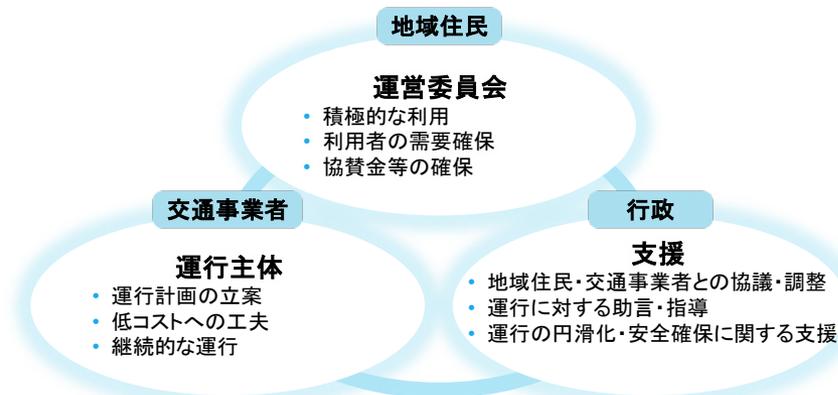
- 国と地元自治体で組織する「下関北九州道路計画検討会」での検討が進められるとともに、国の直轄調査において、より詳細な調査や高度かつ広範な専門的知見をもって検討
- 令和2年度からは、国主体の計画段階評価に着手し、海峡部を橋梁形式としたルート帯を決定

早期実現へ向け、国と連携してより一層取り組みを強化

## コンパクトプラスネットワークのまちづくり

### 高齢者等の生活交通を確保する「おでかけ交通」

- 地域住民の日常生活や外出を支援する生活交通の確保
- 対象地域：一定の人口が集積する公共交通空白地区



### 空き家・空き地等の活用推進

- 北九州市空き家バンク(売買等の支援)や住まいの安全安心・流通促進事業(空き家リノベ補助)を実施し、既存住宅の流通を促進
- 空き家等面的対策推進事業を実施し、まとまった空き家の建て替えを促進

### 旦過地区まちづくりに伴う河川整備

- 旦過地区は、小倉都心の重要な商業拠点
- 安全性を高めるとともに、魅力ある市場として継続させるため、神嶽川の改修と一体となった、旦過地区の再整備を実施



## 女性の就業促進

### ウーマンワークカフェ北九州

- 国・県・市が一体となり、女性の”はたらく”をワンストップでサポート
- 国・県・市が一体となって女性の就業支援に取り組むのは**全国初**
- 開設から5年で延べ7万人が利用



### ②キャリアアップ支援

### ①就職支援



### ③創業支援

### ④子育てとの両立支援

## 北九州イクボス同盟

- 北九州商工会議所と連携し、市内企業・団体のトップが中心となって働きやすいまち北九州を目指し、「北九州イクボス同盟」を設立
- 令和5年度までに加盟企業300社を目指す（令和3年9月末時点：198社）



## 子育てしやすいまち北九州

### 子育て環境の魅力

- 小児救急医療体制の充実
  - 24時間365日体制で小児救急を実施している医療機関が市内に4箇所あるなど**全国的にみても充実した小児救急医療体制**
- 多様な保育施設の充実
  - 「1歳児5人に対して保育士1人」という手厚い北九州市独自基準
  - **年度当初の待機児童ゼロ**（H23～令和3年度 11年連続）

### SDGsの視点を踏まえた学校教育

- 子どもひまわり学習塾の実施
  - 学習習慣の定着、基本的な内容の定着
- 外国語教育の推進
- 子どもの読書活動の推進
  - 学校図書館職員の拡充配置
  - 子ども図書館を拠点とした子どもの読書活動の推進
- 不登校に関する総合的な事業の推進
  - スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の活用
- 教育用タブレット端末の整備
- GIGAスクール構想の実現推進



### 子育て・教育環境の更なる充実

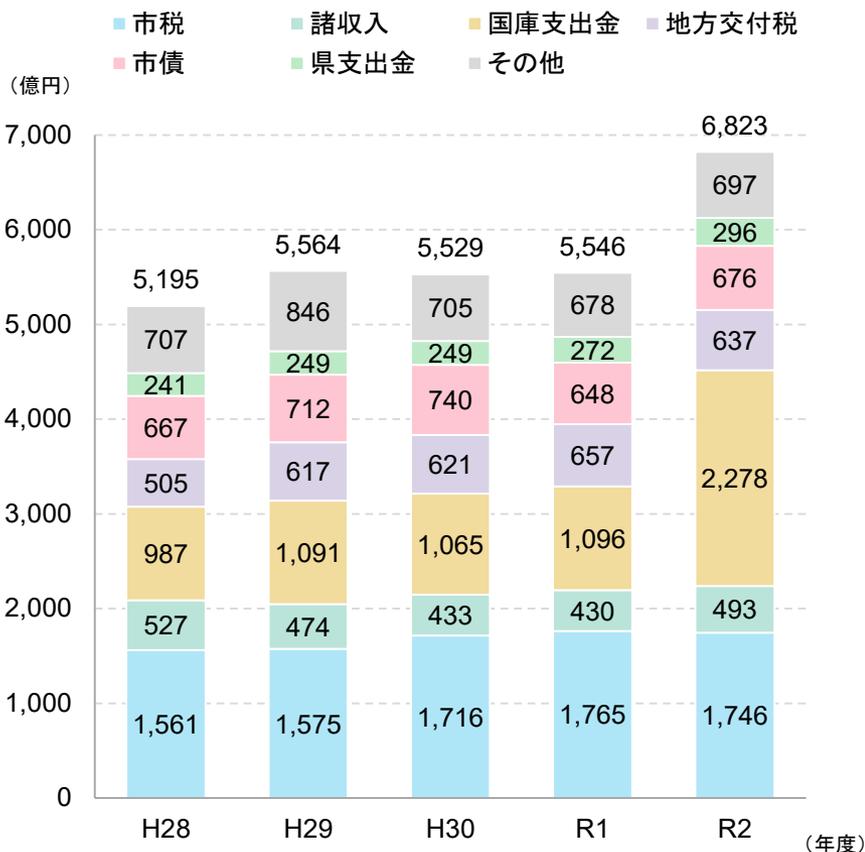
- 産後ケア体制の強化
- 児童相談所の機能強化
- 医療的ケア児の支援

## 5. 北九州市の財政状況

# 令和2年度決算 歳入決算額の推移

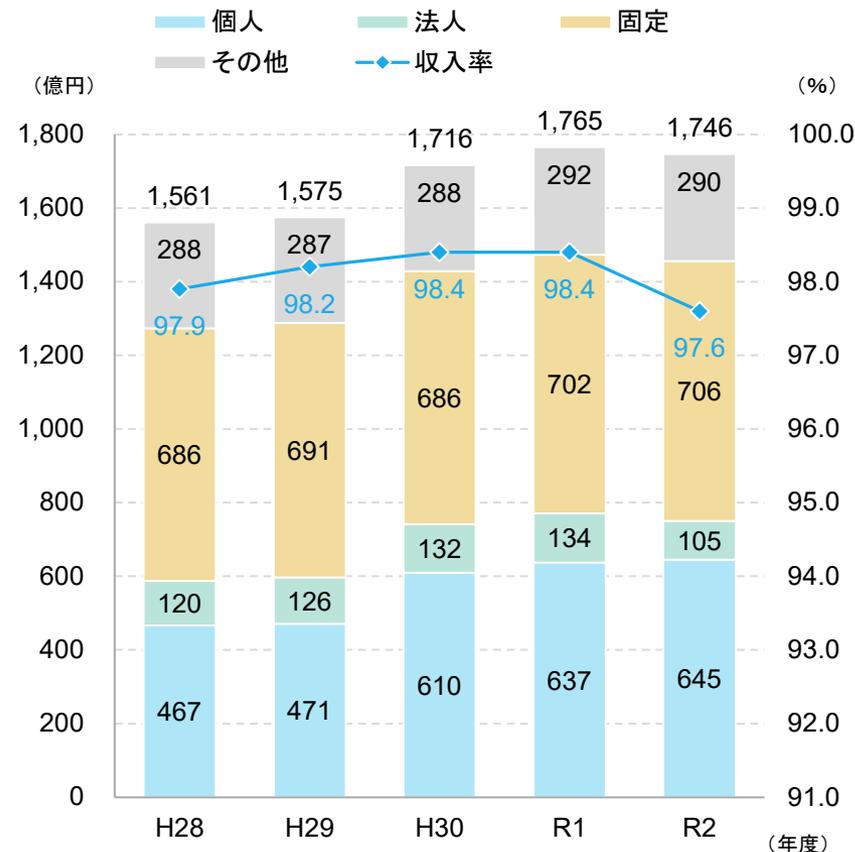
## 歳入決算額の推移(普通会計)

- 市税額は新型コロナの影響による企業収益の悪化等により4年ぶりに減少したものの、過去2番目の規模
- 国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や特別定額給付金の支給等により、1,182億円の増加



## 市税収入額の推移(普通会計)

- 法人市民税は、新型コロナウイルスの影響により企業収益が悪化したことに加え、法人税割税率の引き下げの影響により、対前年度比29.34億円(▲21.9%)の減少
- 市税収入率は徴収猶予の特例の影響により97.6%となったものの、徴収猶予の特例分を除いた収入率は前年度と同水準

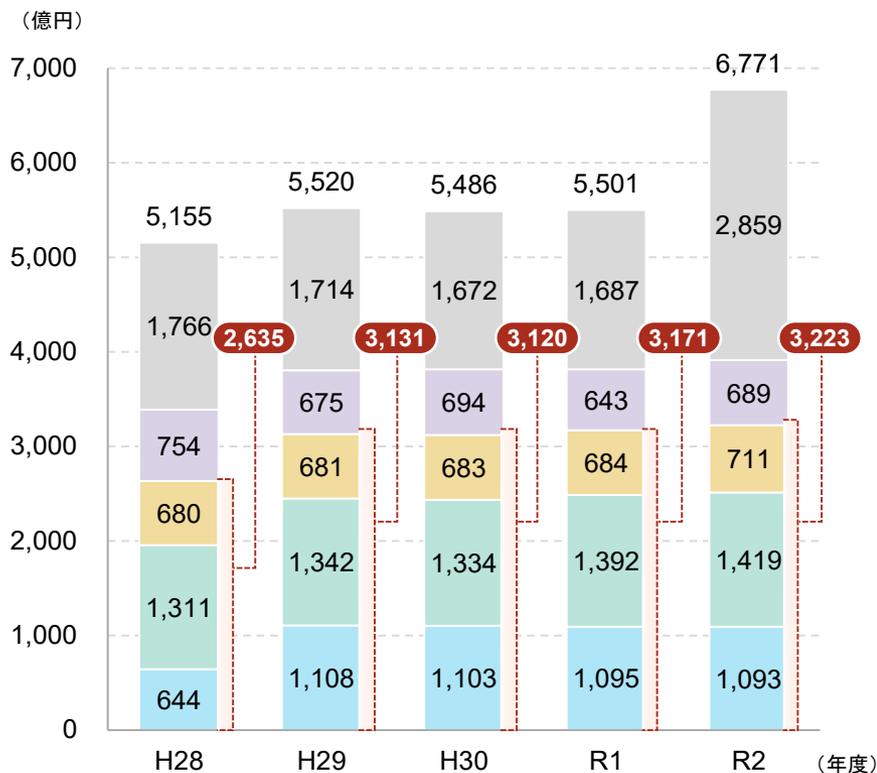


## 歳出決算額の推移(普通会計)

- 歳出は、特別定額給付金や中小企業融資など、新型コロナウイルス感染症対策の実施により大幅増
- 扶助費は、ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給や障害福祉サービス事業等の増加により27億円の増加

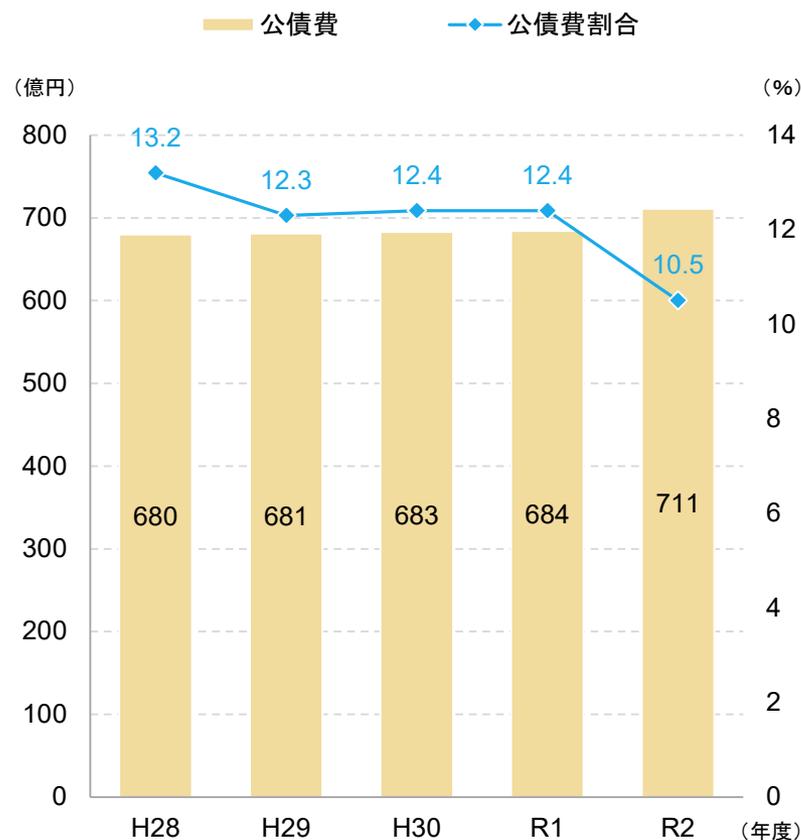
### 義務的経費

■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費 ■ 投資的経費 ■ その他



## 公債費の推移(普通会計)

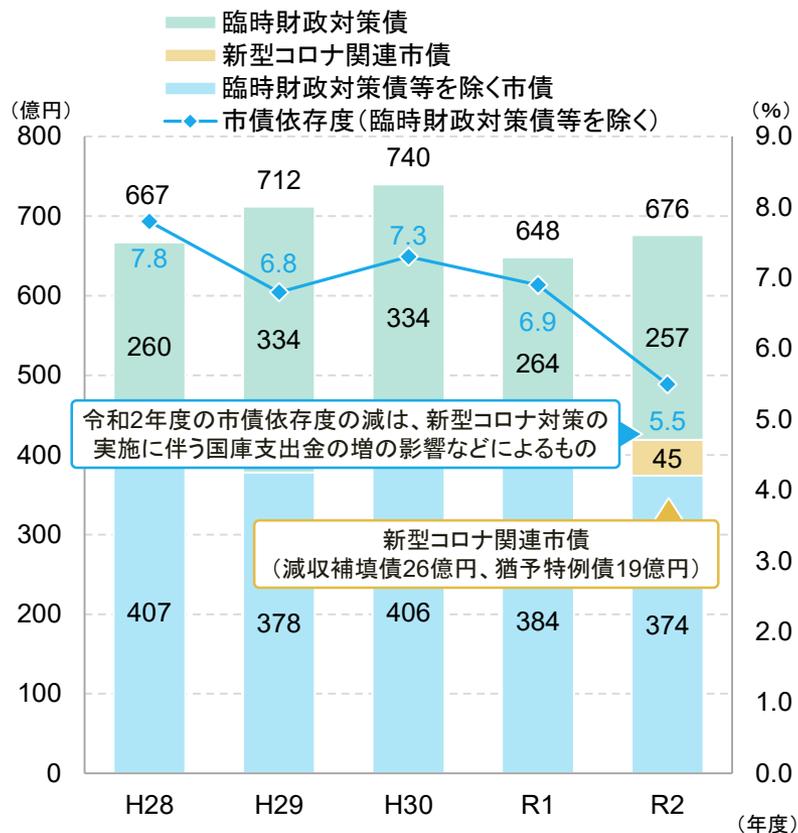
- 満期を迎える市債の増加に伴い、元金償還額が増加したこと等により、対前年度比3.9%の増加



## 市債発行額と市債依存度の推移(普通会計)

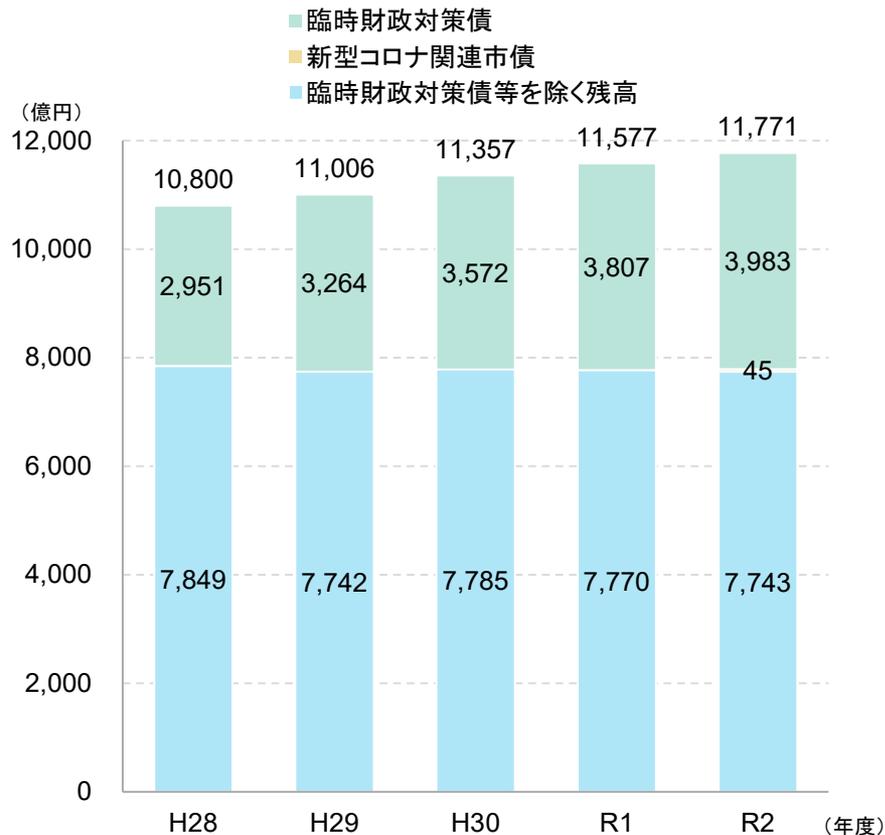
- 令和2年度は、新型コロナに伴う減収に対応するための特例的な市債として減収補填債、猶予特例債を発行
- 臨時財政対策債<sup>※</sup>や新型コロナ関連債(減収補填債、猶予特例債)を除く市債発行額は374億円で、対前年度比10億円(▲2.6%)の減となり、歳入全体に占める市債の割合は前年度を1.4ポイント低下の5.5%に減少

※臨時財政対策債: 国の地方交付税への財源不足対策として、本来地方交付税で交付されるものの一部を各地方公共団体が借入れる地方債



## 市債残高の推移(普通会計)

- 臨時財政対策債及び新型コロナ関連市債(減収補填債、猶予特例債)を除く公共事業等にかかる市債残高は7,743億円となり、対前年度比27億円減と横ばいで推移



## 健全化判断比率

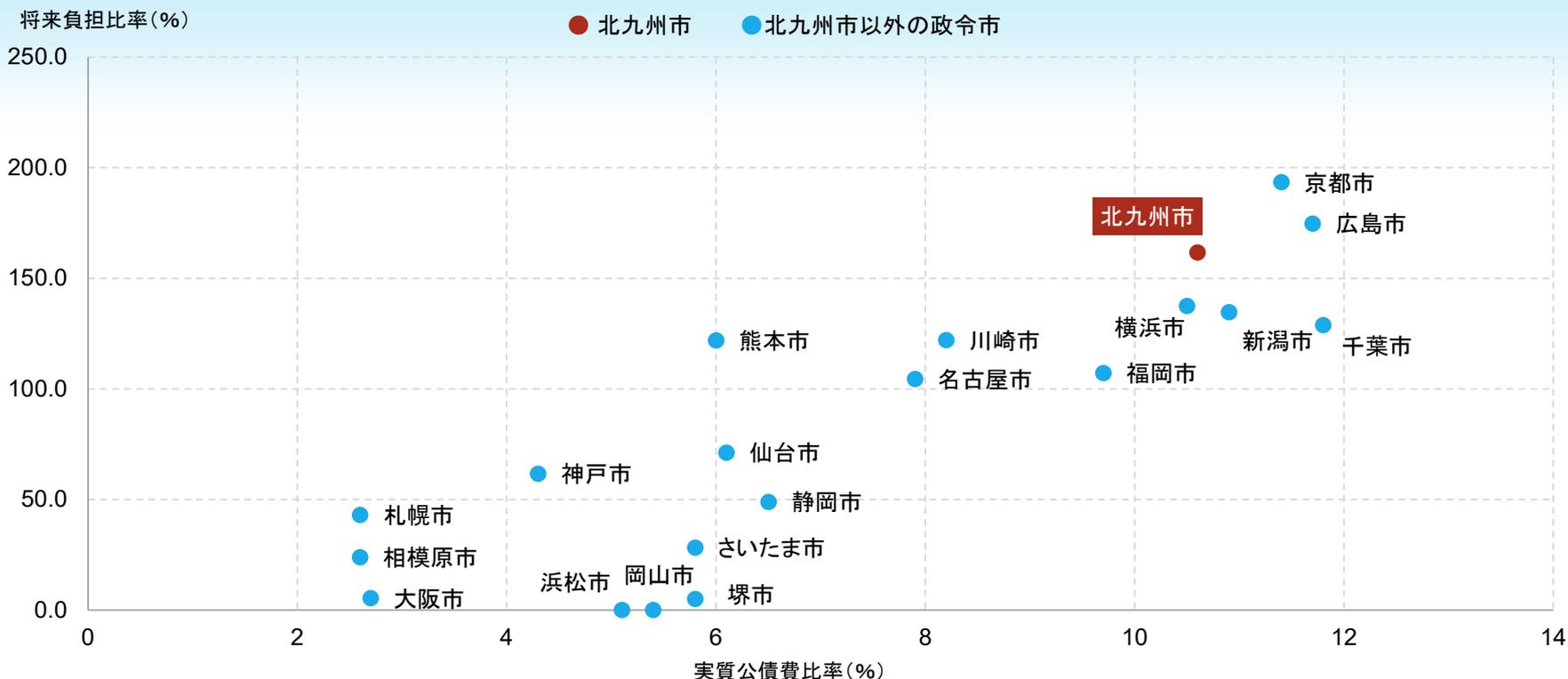
自治体財政の健全化を示す「健全化判断比率」は、全ての指標で基準値を大きく下回る

⇒ **財政規律を堅持し財政の健全性を維持**

- 実質赤字比率は、連結ベースを含め「比率なし」の黒字を確保
- 実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値を大きく下回る

区分	北九州市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	-	16.25%	30.00%
実質公債費比率	10.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	161.6%	400.0%	-

## 実質公債費比率、将来負担比率の政令市の状況



※総務省 令和2年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率の概要(速報)

# 令和2年度決算 公営企業の経営状況について

## 令和2年度 公営企業の決算状況

(単位:百万円)

- 公営企業会計全てにおいて十分な資金剰余を確保

区分		上水道事業		工業用水道事業		交通事業		病院事業(※)		下水道事業		公営競技事業	
事業内容		水道事業の経営と施設整備 国際技術協力の推進		工業用水道の経営と施設整備		市営バス事業の経営と施設整備		市立病院の経営と施設整備		下水道事業の経営と施設整備 国際技術協力の推進		競輪事業・ボートレース事業の経営と施設整備	
決算年度		R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
収益的 収支	収入	20,359	20,192	2,008	1,963	1,804	1,761	289	286	27,804	27,340	109,380	145,522
	支出	18,527	18,655	1,490	1,530	1,980	1,864	443	429	26,112	25,972	103,933	134,535
	差引(A)	1,832	1,537	518	433	▲ 176	▲ 103	▲ 154	▲ 143	1,692	1,368	5,447	10,987
資本的 収支	収入	4,414	4,081	82	99	37	72	341	318	12,106	14,470	3,058	2,712
	支出	12,911	13,074	954	819	152	144	341	318	24,765	24,875	5,269	6,318
	差引(B)	▲ 8,497	▲ 8,993	▲ 872	▲ 720	▲ 115	▲ 72	0	0	▲ 12,659	▲ 10,405	▲ 2,211	▲ 3,606
差引収支(A+B)		▲ 6,665	▲ 7,456	▲ 354	▲ 287	▲ 291	▲ 175	▲ 154	▲ 143	▲ 10,967	▲ 9,037	3,236	7,381
補填財源等		6,572	7,281	547	448	36	▲ 31	190	155	10,313	10,485	995	1,043
単年度資金収支		▲ 93	▲ 175	193	161	▲ 255	▲ 206	36	12	▲ 654	▲ 1,448	4,231	8,424
年度末資金剰余		5,752	5,577	1,969	2,130	1,144	938	41	53	2,133	3,581	8,043	16,467

※ 病院事業は、門司病院の運営と旧若松病院等にかかる企業債の償還のみを実施  
医療センター及び八幡病院の運営は平成31年4月1日に地方独立行政法人北九州市立病院機構へ移行しており、この会計には含まない

# 令和元年度決算 北九州市の財務書類

- 市民の財産である「資産」は2兆6,496億円、将来世代の負担となる「負債」は、1兆2,761億円、過去及び現世代や国・県が負担済みであり将来返済の必要がない「純資産」が1兆3,735億円
- 経常費用は4,449億円、経常収益が295億円、臨時損失が66億円、臨時利益が4億円で、「純行政コスト」は、4,216億円
- この「純行政コスト」が、市税や地方交付税等により賄う額

## 「一般会計等の財務書類の概要」

### 貸借対照表 (BS)

(R2年3月31日現在)

資産	2兆6,496億円	負債	1兆2,761億円
固定資産	2兆6,108億円	固定負債	1兆1,597億円
有形固定資産	2兆2,172億円	地方債	1兆787億円
事業用資産 (庁舎、学校、市営住宅等)	8,318億円	退職手当引当金	767億円
インフラ資産 (道路、港湾、公園等)	1兆3,776億円	その他 (損失補償等引当金等)	43億円
物品 (自動車、機器類等)	78億円	流動負債	1,164億円
無形固定資産	31億円	1年以内償還予定地方債	1,042億円
投資その他の資産 (出資金、基金、長期貸付金等)	3,905億円	その他 (賞与等引当金等)	122億円
流動資産	388億円	<b>純資産</b>	<b>1兆3,735億円</b>
現金預金等	85億円		
財政調整基金	81億円		
その他 (未収金等)	222億円		

### 行政コスト計算書 (PL)

(H31年4月1日～R2年3月31日)

経常費用	4,449億円	経常収益	295億円
業務費用	2,347億円	使用料及び手数料	158億円
人件費 (職員給与費、退職手当引当金繰入額等)	1,077億円	その他 (利子、雑入等)	137億円
物件費等 (物件費、維持補修費、減価償却費等)	1,146億円	<b>臨時利益 (資産売却益等)</b>	<b>4億円</b>
その他の業務費用 (支払利息等)	124億円	<b>純行政コスト</b>	<b>4,216億円</b>
移転費用	2,102億円		
補助金等	440億円		
社会保障給付	1,357億円		
その他 (他会計への繰出金等)	305億円		
<b>臨時損失 (資産除売却損等)</b>	<b>66億円</b>		

### 資金収支計算書 (CF)

(H31年4月1日～R2年3月31日)

前年度末資金残高		43億円
業務活動収支	117億円	
投資活動収支	△509億円	
財務活動収支	395億円	
本年度資金収支額		3億円
本年度末資金残高		44億円
+本年度末歳計外現金残高		41億円

### 純資産変動計算書 (NW)

(H31年4月1日～R2年3月31日)

前年度末純資産残高		1兆3,751億円
純行政コスト	△4,216億円	本年度差額 △70億円
財源(税込等、国県等補助金)	4,146億円	
資産評価差額等	54億円	
本年度純資産変動額		△16億円
本年度末純資産残高		1兆3,735億円

- 北九州市では、平成26年度以降の新たな行財政改革の大きな方向性として、「北九州市行財政改革大綱(平成26年2月)」を策定
- この大綱の具体的な取り組み内容については、「北九州市行財政改革推進計画」としてとりまとめ、毎年度、見直しを行いつつ、当該推進計画や取り組み結果等を予算・決算期に公表
- より一層の事業の「選択と集中」を図り、持続可能で安定的な財政の確立・維持に努める

## 令和2年度行財政改革の取り組み

### 簡素で活力ある市役所の構築

- 課題解決型・成果重視型組織の構築
- 簡素で効率的な組織・人員体制の推進
- 職員数の適正化(平成8年度**11,358人**⇒令和2年度**7,191人**)

効果額 **207** 百万円

### 外郭団体改革

- 外郭団体の役割に照らし、各団体のあり方を見直し
- 市の適切な関与による政策の実現
- 外郭団体への財政支出精査
- 公益財団法人の基本財産等の返還

効果額 **100** 百万円

### 官民の役割分担と持続的な仕事の見直し

- 保育所など民間事業としても行われている業務の民営化等
- 民間活力の更なる導入等の視点から持続的に事業を見直し
- 未利用市有地の売却促進や新たな歳入の確保

効果額 **6,498** 百万円

### 公共施設のマネジメント

- 公共施設の総量抑制(40年間で保有量約20%削減)
- 施設分野別の実行計画等の推進

効果額 **78** 百万円

令和2年度における行財政改革効果額

**6,883**百万円(全会計ベース)

※計画対比+3,257百万円

## 北九州市が「日本新三大夜景都市」に認定

- 北九州市は「皿倉山」「高塔山公園」「足立公園」「門司港レトロ展望室」「小倉イルミネーション」「戸畑祇園大山笠」「和布刈公園第二展望台」と7つもの「日本夜景遺産」があり、2018年に札幌市や長崎市とともに「日本新三大夜景都市」に認定
- また、「若戸大橋」のライトアップも始まり、小倉城周辺や門司港レトロ地区の更なるライトアップの整備も進むなど、ますます魅力ある夜景が出現



### 本資料に関するお問い合わせ先

#### 北九州市財政局財務部財政課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号

TEL:093-582-2003 FAX:093-582-2070

E-mail: [zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp](mailto:zai-zaisei@city.kitakyushu.lg.jp)

# 北九州市ふるさと納税

思いやり型  
返礼品

2021年度のお申し込みは  
12月31日まで！  
お早めに！



自分のためではなく、  
誰かのための返礼品



ふるさとに住んでいる  
ご家族等へのサポート  
...親孝行代行サービス等



子ども食堂へ  
返礼品を寄贈



障害就労施設で働く  
障害のある方の  
自立を支援

## ふるさと納税のお申し込み方法

お申し込みは簡単！インターネットから

クレジット決済、各種電子決済での支払いも可能です。(詳しくはサイトでご確認ください)  
インターネットをご利用いただけない場合は、以下へお問い合わせください。



北九州市ふるさと納税

北九州市 ふるさと納税

検索

お問い合わせ 北九州市地方創生推進室

☎ 093-582-2174

LINE公式アカウント 北九州ライフ

お友だち募集中！

ふるさと納税など、  
市の情報をお届けします。

お友だち登録は、こちらから ⇒

